

現在、コロナ禍の状態です。台風、豪雨、地震等で被害の出た場合、以前のような避難所での避難生活は出来なくなります。

1、まずは、自宅に被害のない場合は在宅避難、この場合でも停電（今年の台風では千葉県内で1ヶ月もの停電が発生）、断水、ガスの供給停止への対応を考えなければなりません。この場合備蓄食料、通常の保存可能な食品（米、パスタ等）を利用することに成りますが、熱源がありませんので、下記の「ガス、調理熱源対策」をご参考にしてください。

・停電対策

LEDライト、ヘッドライト等、LED非常灯（写真1）。

我が家では天井に「LED非常灯」を設置しています。停電になると自動点灯し、且つ取り外して懐中電灯としても使えます。リモコンでの操作も可能です。

（写真1）のLEDライト、ヘッドライト等、LED非常灯の充電はモバイルバッテリー、車用の「ジャンプスターター」、車のシガーライター等から行います。携帯電話の充電にも使用可能です。私は、太陽光パネルを購入予定です。

ガソリンは私の場合、ボランティア活動でチェーンソー、刈払い機で使用するため、常時携行缶で20L保管しています。

・断水対策

保存用ペットボトル、ポリタンク等で保存。お風呂の水は簡易浄水器（4,000円位、ペットボトル使用可）で濾過。我が家では「エコ給湯」があるため、常時380Lの熱湯が保存されています。

・ガス、調理熱源対策

家庭用カセットコンロ+予備カセットボンベで対応。新たに薪・炭ストーブ（ロケットストーブ/名称エコズーム・バーサ）を購入しました。このストーブは東日本大震災の頃に「少ない薪で効率よく燃焼」させる為に開発されました。煙突構造で2次燃焼するので、煙もなく燃焼後灰完全に白い灰だけになります。小枝で十分です。本体は小さいですが、がっしりしているため大型の鍋にも対応出来ます。セット（本体、専用ケース、パワーリング）価格26,800円。これはお薦めです。

・排便

非常用トイレセットを準備します。

・台風災害雨漏り対策として、大きめのブルーシートも準備することをオススメします。

2、避難所へ

【準備するもの】

ペットボトル、食料、ゴミ袋、ウェットティッシュ、トイレットペーパー、新聞紙、筆記具、貴重品、ウエストポーチ（貴重品入れに）薬手帳、笛、懐中電灯、携帯充電器、着替え、ハザードマップ、寝袋等。女性の方は防犯ブザー等も。

これまでの避難用品に加えて「コロナウイルス」対策として、次のものを準備致します。

- ・マスク、多めに。使い捨て。
- ・体温計
- ・使い捨て手袋
- ・手指消毒液
- ・除菌、抗菌シート
- ・フェイスガード等

※ソーシャルディスタンスの観点からテントの持ち込みが可能であれば、登山用のテントも持ち込みます。

3、他の避難場所として知人、友人宅、一時的に自家用車

以下参考資料

写真 1、

停電対策品 左からヘッドライト、懐中電灯、非常灯（下、リモコン付き）、ランタン（上）、USB ランプ、モバイルバッテリー



ロケットストーブ「エコズームバーサ」直径 24cm、高さ 30cm、重さ 6.5Kg

